



田崎学舎

㊦のしく ㊦わやか ㊦れいな 我らが学び舎
【合い言葉】… 高みを求めて一步前進

子供目線の夏休みに

校長 岩戸 淳

一学期末。学校では子供たちと先生方の真剣な学習のまとめが展開され、日頃の様子や各種テストの結果などから、十分に理解していないところを繰り返し全体で取り上げたり、個別に指導したりしていました。

終業式の日。一人一人に渡される通知表を通じて、成長や変容をよくご覧いただきたいと思っています。よかったところは大いにほめ、認め、もう少しのところは励ましや方向付けのための助言をしてください。その際、他の子供や兄弟姉妹と比べるのは慎みましょう。六年前から十一年前に生まれた人が、家庭や地域・学校の中で学び、周りの人たちに支えられながら様々な経験や体験を通じて、一步、成長しているところです。

いよいよ、四十四日間の夏休みに入ります。学校では、子供自らが安全で楽しい夏休みにしていくための学習課題を作成して配布し、安全な生活や学習の取組等について指導しています。夏休みの生活のしおり、生活表、読書の記録、自由研究や作品募集への取組等、おうちでも夏休みの過ごし方を話題にして、事故のない楽しい夏休みになるように家族ぐるみで話し合っていただけだと思います。

夏休みは、過干渉でなくほったらかしでもない、程よい距離感でお子さんを見守ってください。そして、おうちでお子さんが自主的に課題に取り組んでいるときは一言、褒めてあげてください。夏休みが有意義に過ごせるかどうかは、お子さん本人の努力もですが、おうちの人の後押しが励みになります。例えば「決めたことを毎日実行する。」「自分を客観的に見る練習をする。」「小さな我慢をする。」「等の積み重ねが、お子さん自身の自制心を育むことにつながります。ぜひ、よい習慣が身に付くよう励ましの声かけをお願いします。今後どのような世の中が変わろうとも変わらない基礎・基本は「読み・書き」そして「自分の頭で考える」ことでしょう。夏休みは、子供の読書習慣を付けるよい機会だと考えます。毎日、読書の時間を決めて親子で一緒に読むようにすると集中力も高まると思います。あと一つの基礎・基本は「自分のことは自分でする習慣」でしょう。例えば、整理整頓など急に身に付くものではありません。幼いころからの習慣が大切です。ふとんの上げ下ろし、食後に食器を引く、洗濯物をたたみ、自分の服をきちんとしまう、使ったものはすぐに片付ける…等々、まず自分の身の回りのことを自分でするという習慣を付けさせたいものです。夏休みならこなせるでしょう。

夏休みには子供たちを地域で見かけるが多くなると思います。子供たちを見かけましたら「人の子も我が子もみんな田崎の子」の気持ちで温かく見守っていただきますようお願いいたします。